六小だより

― 花と緑の学校 ―

六小・ホームページ　http://6s.hyama.andteacher.jp

令和２年５月１１日
第２号
東大和市立第六小学校
校　長　　関　雅人
℡　042 (562) 1158

家族の一員として過ごす　～よく考え　力を合わせて　たくましく～

校長　関　雅人

5 月に入りましたが、感染拡大が止まらない状況が続いています。国の緊急事態宣言延長に伴って、引き続き臨時休校が継続されることになりました。長引く休校で、保護者の皆様は大変な思いで日々を過ごされていることと存じます。

「ぼくは、行きたいところがあるけれども今は我慢をしているんだ。でも、テレビを見たら、たくさんの大人が我慢をしないで出かけているよね。いいのかなあ。」
これは先日、居場所確保事業にやってきた低学年の子どもの言葉です。子どもは、大人の行動をよく見ているのだなと思いました。社会全体が非常に厳しい状況の中で、心ない言葉や差別的な発言が大人社会の中で見られることも子どもは敏感に察知しているのではないかと思います。
そんな状況だからこそ、子どもの成長に直接関わる私たち大人の言葉や行いが、より一層大切な意味をもつのではないでしょうか。子どもにとって一番身近な家族が普段以上に大きな存在になることと思います。

長引く休校で大変だとは思いますが、ご家族で協力し、助け合い支え合っていただきたいと思います。お子さんに家族の一員としての役割を与え、言葉をかけてあげて欲しいと思います。「今日もお風呂がぴかぴかで助かるわ。」「みんなのくつがいつもそろっていて気持ちがいいね。」
頑張りを認め褒めたり、感謝の気持ちを伝えたりすることが、自己肯定感を高めます。自己肯定感が高まると、新しいことにすすんでチャレンジし、最後まであきらめないでやりぬく力がつきます。
ご家庭の中で、第六小学校の教育目標が達成されますね。
家族の一員として規則正しい生活を子どもたちが送れるよう、引き続き休校中の過ごし方について、改めて各ご家庭での約束を親子で確認していただければと思います。特に、携帯電話やインターネットに関係したトラブルには十分気を付けていただきますようお願いいたします。

学校教育目標

○よく考える子
（すすんでチャレンジ！
自ら考え判断し行動！）

○力を合わせる子
（互いに仲良く助け合い
認め合い・高め合い！）

○たくましい子
（人に優しく最後までやりぬく！）

感染拡大対応が長期化することに伴い、各ご家庭での学習が通常時以上に大切になります。文部科学省は、一定の条件の下、家庭で学習した内容を再開後の授業内容から省くことができる旨の見解を示しました。再開後は一人一人の理解度を確かめて、個別に指導することもあるかもしれません。
六小では、前回の休校時に「この日にこの学習を行いましょう」という形で課題をお示ししました。今回は、さらに子どもが計画的に学習に取り組めるような「計画表」を作成しました。計画的に時間を使う習慣付けをしながら、集中して家庭学習に取り組めるようお声がけいただければ幸いです。
ポイントとしては
・「早寝早起き朝ご飯」を意識した乱れのない生活をベースにする。
・午前中を基本とし、できるだけスタート時刻は学校の時刻と合わせるようにする。
・学習に集中するため、学習に取り組む時間と休憩する時間のメリハリを付け、お手洗いや水分補給は休憩時間に行うようにする。
・学習する場所を決め、ゲームやおもちゃなどが視界に入らないよう、集中できる環境で学習する。
・教科書をよく読んで内容を知ることが大切です。動画は補助的に使います。
毎日振り返りを行うようになっていますので、ご家庭での確認をお願いします。
学校への所属感が薄れないためにも、休校期間中担任から電話連絡を行います。また、動画の配信も検討しています。３４０名の子どもたちが元気に学校に来られる日を教職員一同心より願っています。